

早いですね！12月をむかえました。

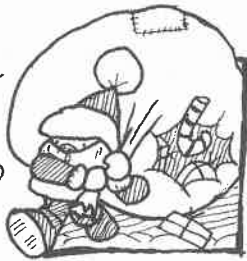
幼稚園は、生活発表会へ向けて一色になっていると言ってよいでしょう。「聞く力」を年と共に身につけてきた子どもたちです。その力を発揮してきた子どもたち、本番では、観てくれる保護者の皆さまに大きな満足が間違い無しです。特に年長児たちは最後のイベント。子どもたちも、スタッフも複雑な想いです。

■ハーモニカ！むずかしい楽器かな？

年長組になると、ハーモニカの活動が課題活動となります。

口に当てて、吹いても吸っても音が出るとても簡単な楽器です。

小さくて、自分のポケットに入れてどこにでも持って行けるし、ひとりでも、どこででも楽しめる便利な楽器です。



でも、全国的に観察してみても、小学校では殆どの学校が取り入れているし、もちろん幼稚園や保育園でも同じです。

そんな陽の当たらない小さな楽器を自発的では年長児の課題活動として、開園以来実践しております。

はじめて手にする人には難しい楽器ですが「聞く力」のある幼児には、むずかしくはないのです。

どこを吹いても音は出ます。でも、吸って出す音は場所が決まっています。

もちろん音階も口を当てる場所によって変わります。ひとりぼちの音色もいいですが、発表会での年長クラスによるハーモニカ合奏「歓喜の唄」ベトナムは圧巻でした。

コロナ対策として、今年も聴けないのがとても残念です。

いつの日か、あの音色を聴ける日を楽しみにしております。

(心の育ちシリーズ)

見るべき人は目の前にいるよ！

2年前に第一子を出産した時、とても嬉しかったのと同時に、両家の親が遠方だったこともあり、気軽に育児の相談をできる人が周りにいず、不安を抱えていました。今思えば、生まれた子に神経質なほど育児書通りの成長を求め、育児書通りにならないと、インターネットを検索して対処法を探していました。ネットの膨大な情報に振り回されることも多く、疲れていました。

その日も、何をしても泣き止まない我が子を横に、対処法をインターネットで検索していました。そんな時、いつの間にか帰宅した夫が私に、「向してるの？」と聞いてきました。私が、「見てわからない？何をしても泣き止まないから、どうしたらいいか調べているんだよ」とろくにさばうに答えると夫は、「インターネットにうちの子が泣き止まない原因は書いてないよ」と返し、そして、「見るべき人は、目の前にいるよ」と続けました。

ハッと子どもを見ると泣き止みながら、「ママ、ママ」と呼んでいます。子どもは、神経質になっている私に抗議していたのかともしれません。ただ抱っこしてほしかっただけかともしません。

それ以降も、育児は思い通りにならないことは多いですが、それまで以前より、子どもに向き合うようになったと思います。

私の目を覚ましてくれた、あの時の夫の一言には感謝しております。

“101人の泣いて笑ったたった一言”より